

土木建築 工事基本知識講座

保線作業と地盤 理學士 江畑弘毅 一般土木工事に應用自在なる

岩盤及び地盤に對する一般的判定法……(1)

地這りは如何なる地盤に起るか、堰堤の基礎は如何なる岩盤が良いか、或は自然の地盤や岩盤に對し如何な切取り方法をしたら良いか、所謂工事の合理的施工をなす爲めに先づ此の地盤の常識を有つ事が必要である。

江畑理學士は鐵道省保線講話會に於て「保線作業と地盤」なる題の下に有益なる研究を發表された、而して其講演は以上の諸問題に對し最も通俗的に且つ系統的に解決を與へたもので、所謂從來の土木地質學に一新生面を拓いたものである。本號より豊富なる参考寫眞圖と併せて其解説を掲載する事を得たるは讀者と俱に喜びに耐へない處である。(編者)

(1) 地盤の現在

一體地盤とはどんなものかどんな特性を持つてゐるか、又現在どんな起伏状態を現してゐるか云ふ様な、所謂地盤の現在あるがま

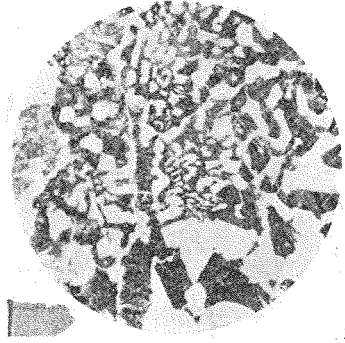
の種類なり性質なりに就て、次の如き順序を追ひまして其大略を述べたいと思ひます。

(1)地盤の種類 (2)地盤の特性 (3)

同じく花崗岩でも、其中に含まれてゐる成分礦物の排列状態の如何に依つては、岩石の硬軟に著しい差があります。第一圖の如く成分礦物が單なる排列をなしてゐるものよりも、第二圖の如く粒子が互に入り組んで所謂文象的構造を現してゐる物の方が、岩石として丈夫であります。



第1圖 花崗岩の顯微鏡寫眞



第2圖 花崗岩の顯微鏡寫眞